



## 火災ゼロを目指して一斉放水

(出初式)

### 12月定例会

提出議案の内容

2面

一般質問 9人の議員が問う

5面

常任委員会審議内容

13面

町HP上で動画配信中!



## 《新規事業》雇用促進奨励金制度《の利用ゼロ 使いやすい制度に改善へ》

平成24年12月定例会が、12月14日から21日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会に提案された平成24年度各会計補正予算、条例の一部改正、人事案件などの議案を慎重に審議し、提案された23議案すべてを、全会一致で原案のとおり可決（同意）しました。

### 補正予算

#### ☆一般会計

歳入歳出それぞれ2694万5千円を追加し、補正後の予算の総額を93億624万3千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

##### ●選挙費

1001万1千円  
平成24年12月16日執行の衆議院総選挙等に係る費用（専決処分を承認）

#### 制度緩和で

#### 利用増へ

##### ●雇用促進奨励金

△550万円  
町内在住の新規雇用1人当たり10万円を町内事業主に交付する制度。

10月以降2件認定があったが、雇用から6か月経過後に奨励金交付の申請が可能となる。そのため、来年度予算での対応となり、今年度予算は全額減額する。

11月に要綱を改正し、手続きの簡素化などを行った。制度のさらなる利用増加を図る。

##### ●役場庁舎改修経費

525万円

窓ガラスのペアガラス化などにより、庁舎の遮熱・断熱性を高め、地球温暖化対策と省エネルギーに努める。

##### ◎ 県補助金を使った改修だが、役場以外の公共施設でも実施する予定は。

Ⓐ 当初予算では、町単独費で挙げていたが、県補助金があるので箇所を追加して行う。単年度補助であり、町全体の取り組みとは考えていない。



ペアガラスにする本庁舎東側のサッシ

天井知らずに増え続ける扶助費（各種サービス費・給付費など）

##### ●自立支援給付費

2548万8千円  
障害者自立支援法の制度改正や、事業所の新体系移行後の利用実績の増加に伴う補正。

##### ●特別医療給付費

848万9千円  
当初見込みより、中学校卒業までの小児や、身体障がいのある方などの医療費が増加していることに伴う補正。

## 本当に効果は上がるのか

### ●松くい虫等防除事業

△214万9千円

空中、地上散布の回数を2回から1回にしたことによる委託費の減額。

### ◎なぜ1回にするのか。

▲当初予定の農薬から、1回の散布で効果があるものに変更したため。

### ●広域入所委託料

2702万3千円

保育所の広域入所見数の増加による補正。

### ◎なぜ広域入所、特に私立が増えているのか。

▲公立10名、私立50名

で予算を組んでいたが、公立13名、私立68名となった。低年齢児の広域入所が非常に増えている。実家や勤務先に近い

施設を選ぶ傾向があり、公立、私立で選んでいるわけではない。

### ●道路新設改良事業

△2530万円

当初7事業を計画していたが、社会資本整備総合交付金の確定により、3路線分の事業を削減したことに伴い減額する。当該路線については来年度に再度計上する。

### ☆国民健康保険事業特別会計

#### 別会計

歳入歳出それぞれ996万3千円を追加し、補正後の総額を19億9880万9千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

退職被保険者等療養給付費の増額。

### ☆介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ616万5千円を追加し、補正後の総額を16億9302万7千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

介護予防サービス給付



道路改良事業が延期となった「町道門田長江線」

《主な補正内容》  
消費税確定に伴う増額。

### ☆簡易水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ11万円を減額し、補正後の総額を5547万4千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

消費税確定に伴う減額。

### ☆国民宿舍事業特別会計

収益的支出の営業費用を198万8千円増額し、補正後の額を3億4895万5千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

社会保険料雇用主負担分の増額と、館内清掃業務委託料の増額。

### ☆水道事業会計

収益的支出の営業費用を201万4千円増額し、補正後の水道事業費用の額を1億7387万3千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

配水管及び給水管の修繕費の増額。

費の増額、低所得者の負担軽減を図る特定入所者介護サービス費の増額。

### ☆下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ1269万6千円を追加し、補正後の総額を12億71万9千円とするもの。

#### 《主な補正内容》

消費税確定に伴う増額。

### ☆農業集落排水処理事業特別会計

歳入歳出それぞれ35万1千円を追加し、補正後の総額を1億7171万円とするもの。

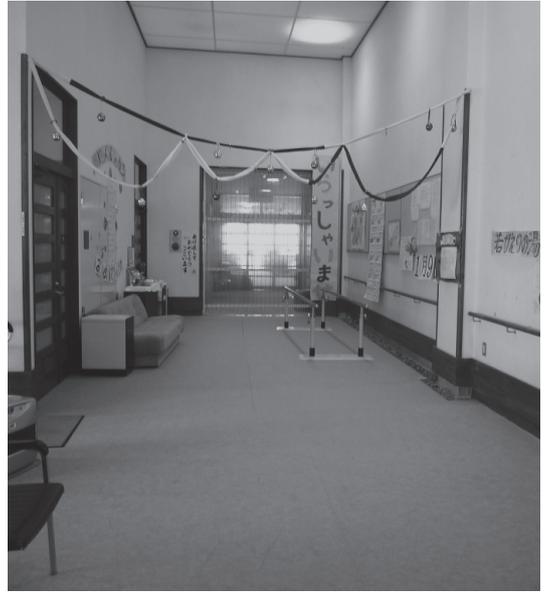
民参加の現状は。

▲筋トレは人気が高いが、定員に限りがあり、今後の課題である。温泉トレーニングは、龍鳳閣

で若い人向けトレーニングを年度中途から始めており、利用が増えている。



松くい虫の防除作業風景



指定管理者が決まったデイサービスセンター

## 条例の一部改正

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」(分権2次一括法)の施行に伴う関係法令の一部改正により、町条例の一部改正を行う。

### ◆公共下水道条例

公共下水道施設の構造、維持管理の基準などを条例で定める。

### ◆水道事業給水条例

布設工事監督者の配置基準などを条例で定める。

## 指定管理者の指定

### ◆湯梨浜町立老人福祉センター及び湯梨浜町

デイサービスセンター  
(指定管理者)  
湯梨浜町社会福祉協議会  
(期間)

平成25年4月1日～

平成28年3月31日

### ◆東郷運動公園

(指定管理者)  
株式会社チュウブ  
(期間)

平成25年4月1日～

平成30年3月31日

## 人事案件(敬称略)

### ◆教育委員会委員

前田 三郎 (小鹿谷)

土海 孝治 (埴見)

### ◆橋津財産区管理委員

伊丹 敏雄 (橋津)

但馬 順三 (橋津)

宮崎 英之 (橋津)

梶川 文隆 (橋津)

永野 忠行 (橋津)

山下美佐夫 (上橋津)

戸崎彦兵衛 (赤池)

### ◆宇野財産区管理委員

本田 輝美 (宇野)

濱崎 正美 (宇野)

中村 敬司 (宇野)

本田 充造 (宇野)

濱上 義人 (宇野)

中嶋 正敏 (宇野)

伊藤 均 (宇野)

### ◆舎人財産区管理委員

寺地 寛美 (宮内)

遠藤 章文 (藤津)

有澤寿賀子 (野方)

石田 壽一 (白石)

山本 正義 (方地)

岡本 康 (漆原)

藪 茂 (北福)

### ◆東郷財産区管理委員

西村 康之 (国信)

尾崎 修一 (別所)

森本 昭光 (川上)

西田 牧雄 (久見)

伊澤 泰憲 (中興寺)

和田 三郎 (松崎)

林 朗 (松崎)

### ◆花見財産区管理委員

足立 秀幸 (長和田)

岡本 和雄 (長江)

生田 明英 (門田)

清水 武 (佐美)

土海 芳実 (埴見)

津嶋 吉信 (羽衣石)

長谷川 収 (野花)

### ◆人権擁護委員(候補)

次の方を適任とした。

久葉 俊二 (橋津)

朝倉 千明 (田後)

谷岡妃奈子 (宇谷)

### ◆選挙管理委員

山根 和夫 (石脇)

本庄 正志 (松崎)

青木由紀子 (はわい温泉)

牧田 千里 (久留)

### ◆選挙管理委員補充員

土海 政信 (埴見)

徳井美和子 (泊)

山田 昭雄 (はわい長瀬)

山本 友子 (白石)

# 陳 情 審 査

12月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果	処 理
島根原発1号機・2号機の再稼働反対と3号機の建設凍結を求める陳情書	反核・平和の火りレー鳥取県実行委員会 実行委員長 小 谷 明 寛	趣旨採択 (12/16)	なし
原子力から再生可能な自然エネルギーへのエネルギー源の転換を求める陳情書	反核・平和の火りレー鳥取県実行委員会 実行委員長 小 谷 明 寛	趣旨採択 (11/16)	なし
妊婦健診と、ヒブ、小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンへの2012年度と同水準の公費助成を国に求める意見書提出の陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山 内 淳 子	採 択 (全会一致)	政府に 意見書を 提出
年金2.5%削減中止を求める意見書の陳情	全日本年金者組合 鳥取県中部支部長 平 井 隆	趣旨採択 (13/16)	なし

※ (○/△) は起立採決における(賛成/出席議員数)を表示。議長は採決に加わりません。

# 9人の 議員が問う

## 一般質問

# ここが 聞きたい!



平成24年12月定例会の一般質問は、第4日目の12月17日(月)に行われた。

質問議員9人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。各議員の質問項目は次のとおり。



12月定例会本会議（議場風景）

ページ	議員名	質問事項
6	上野昭二	①中学校統合は耐震改修で対応を ②思い切った産業振興策を
7	吉村敏彦	人事評価の現状と今後の取り組みについて
7	竹中壽健	伝統芸能の現状と今後について
8	光井哲治	①町道整備について ②各区からの要望対応について
9	浜中武仁	平成25年度予算編成方針と町政の課題について
9	浦木 靖	教育問題
10	入江 誠	①県道倉吉青谷線の整備について ②保育所施設の整備について
11	会見祐子	①湯梨浜町においての男女共同参画の進捗状況について ②中部広域ではごみの搬入が増加しているが、原因は何か
12	増井久美	①就学援助の国庫負担の復活を国にきちんと要望してほしい ②町として在宅介護のあり方、また認知症をどう予防するかなどの将来設計をもっているか

## Q 中学校は耐震改修がベスト

A 新築対応が望ましい



上野昭二 議員

中学校統合は、町民の共通認識となっている。今の関心事は、新設か耐震改修に絞られ、町民は日も早い決着を望んでいる。

鳥取市の庁舎移転問題では、市民運動により耐震改修で決着した。県行政でも、庁舎や高校などの重要な建物は、全て耐震改修された。

どの自治体も財政難を抱え、住民生活に直結し、欠かせないもの以外は、借金をしないで運営している。

古くても使えるものは活用し、環境や財政にもやさしい、耐震改修で臨

むべきと考えるが所見を伺う。

答弁（町長）

中学校統廃合検討委員会からの最終意見書により、両中学校の経過年数及び耐用年数を考慮し、「新しい校舎、付属施設を建設すること。場所と

しては現在の両中学校の場所を検討しつつ、今後の課題として弾力的に対応する」とした。

答弁（教育長）

文部科学省の新校舎建築に伴う補助基準によれば、補助対象面積が拡大している。教科書の大きさがB版からA版へ変わり、1人当たりが占める面積が広くなり、新しい教育に対応する部屋が必要になる。安全面も考え、新校舎が望ましい。



耐震改修で対応可能な「北浜中学校」

## Q 思い切った雇用創出策を A 独自の制度を活用する

町長就任から6年が経過し、産業振興に向け企業誘致策を掲げてこられたが、果たして、これで十分だと思われるか。以前から述べているが、企業誘致策はどの

多くの親は、町内で働き一緒に暮らしたいと願っている。その願いにどう応えるのか伺う。

答弁（町長）

日本経済はデフレによる景気低迷の中にある。企業の海外進出や産業雇用の空洞化、新規企業の誘致は厳しい。「センコースクールファーム」が雇用者41名、「ばにー」が53名（そのうち町内者は合わせて25名）と効果は上がっている。

新エネルギー創出のため、太陽光発電施設や温泉熱活用施設の具体化、また井戸海水の活用など、町がアクションを起こし、働きかけを努力している。頑張る企業応援事業、雇用奨励交付金事業、チャレンジプランなど町独自の制度を活用していく。

昔に終わった「おとぎ話」と認識し、発想を切り替え、そろそろ思い切った政策で、将来への投資時期に来ていると思うが、所見を伺う。将来を担う子ども達や



植物工場で効率よく大量生産（全天候型）

## Q 人事評価の現状と今後の取り組みについて

A 夏季手当から

評価を適用する



吉村敏彦 議員

①評価制度の仕組みについて

公務能率評価実施要領では、上司が部下を評価し、部下は上司を評価する仕組みになっていない。評価は公平、公正が

原則であり、部下も上司を評価すべきと思うが、考えを伺う。

②評価結果の取り組みについて

評価実施要領では、現段階では試行であり、昇給、勤勉手当などには反映させないところである。

試行から7年も経過しており、そろそろ実施される時期と思われるが、考えを伺う。



丁寧で迅速な窓口サービスの向上を期待

答弁(町長)

①人事評価の一義的な責任は、直属の上司にあることが適当である。上司が責任を果たせるような仕組みの構築が優先して検討されるべきなので、逆勤務評定の実施は考えていない。

②評価の昇給、勤勉手当などへの反映については、この冬の手当で実施したいと考えていた。

しかし、評価結果に各課長ではらつきがあり、評価基準をそろえる仕組みが必要であること、財源確保の方法などが検討不十分であることから、確立した制度としての実施には至らなかった。ただし、最低限の人数、率という形で一部実施した。来年の夏季手当から、制度的に実施できるよう、きちんとしたシステムを構築する。



「宇野三ツ星盆踊り」の情景

## Q 伝統芸能団体の

### 連絡協議会の設置を

A 伝統芸能は貴重な遺産



竹中壽健 議員

①総合計画でも文化財保護思想の普及、有形無形の文化遺産を次世代に継承に努めるとあるが、伝統芸能各団体の継承活動

の現状について伺う。

②伝統芸能の担い手の育成、活動に対する支援を行う。また、文化財を地域振興の核に据え、町おこしの起爆剤と位置付け

町民の意識の高揚に努めるとしているが、継承活動の基本的方針と行政の支援について伺う。

③町内の伝統芸能団体の

活動上の共通課題や、継承活動について意見交換などの場を設置すべきと思うがどうか。

答弁(教育長)

①町には県指定の「東郷浪人踊り」、町指定の「宇野三ツ星盆踊り」、「茶町踊り」、「泊貝殻節」の4つがある。いずれも保存会によって小中学生にも継承されるよう努力されている。

②伝統芸能は貴重な遺産であり、また住民にとってルーツに関する理解と愛着を深める役割を持っていると認識する。町と保存会の共通の課題としてとらえ、連携して保存活動に取り組みたい。

③各保存会が連絡協議会を立ち上げようということになれば、教育委員会も協働して取り組む。

## 町道整備について

### A 緊急性を優先に対応



光井哲治 議員

町道改良工事の優先順位の決定プロセスに疑問があり、納得できるものではない。各区から出てくる要望も含め、どう対処されるのが見解を伺う。

①合併時に計画された道路整備事業で、進行中の路線はどこなのか。また未実施の路線はあるのか。  
②町総合計画は骨格であり、改良、新設路線の決定のプロセスはどうなっているのか。  
③町財政推計見直しからすると、今後の整備計画は厳しい現実と向き合うことになるのではないか。



継続事業の「町道松崎田畑橋線」

### 答弁（町長）

①合併時に計画された道路整備事業で、主要事業に位置付けられ、現在も継続しているのは「町道松崎田畑橋線（バイパス）」工事のみである。  
②事業継続中の路線、落石などにより人命に影響を及ぼす路線を優先的に実施している。緊急性、通学路の安全確保、公共施設へのアクセスなどを考慮して優先順位を決定していきたい。  
③国の交付決定の影響を受ける部分が非常に大きく、また、橋りょう長寿命化計画により維持修繕への投資が必要となるため、一層厳しくなると考えられる。  
国の補助事業とはいえ、町の負担もあり、安易な全体事業費の増ということは慎まなければならぬ。必要性を吟味し、要望に沿えるよう努めていきたい。



交差点改良を要望している引地地内の町道

## 各区からの要望対応について

### A 早急に対応するよう努力

各区からの要望は多岐にわたり、住民の身近な問題である。

現在の処理方法では、全職員が把握できない。少なくとも要望内容を知らなければ、職員の対応力も適応力も育たないと思う。議会への情報提供の遅れと今後の対応につ

いて伺う。

①各区からの要望は多岐にわたるが、現状の対応方法で十分なのか。  
②全課全職員は、各区からの要望を情報共有しているのか。  
③調査依頼をするまでになぜ議会に情報提供しなかったのか。

### 答弁（町長）

①基本的には早急に対応をするように努めている。内容によって、国や県に対する要望、予算措置及び期間を要する要望など、早期の対応が困難なものについては、地元はその旨を報告し、ご理解いただくよう努めている。  
②要望のあった所管課以外の職員は、要望に対してどのような対応がなされたか把握できていないのが現状。庁舎内ネットワークの掲示板に掲載するなど、職員が情報共有できる仕組みづくりを考えたい。  
③今日まで議会への情報提供ができていなかったことについてはお詫言する。今後は、各課から出された対応方針を決定し、議会へ提出するようルール化していきたい。

## Q 来年度予算編成方針と

### 町政の課題は

**A** 課題には積極的に取り組む



浜中武仁 議員

国も地方も財政危機との戦いの現状の中、超高齢化、人口減少社会に対応するため、将来の湯梨浜町の姿を見据えた施策を考えることも重要だと思ふ。

① 来年度予算編成方針と、町政の課題と取り組みについて町長の所信を伺う。

② 平成23年度決算審査意見書及び議会決算特別委員会報告について、予算編成の際には第一に検討すべきだと思ふが、検討状況を伺う。

③ 障害者自立支援法が改正され、来年4月から障

害者優先調達推進法が施行となるが、対応状況を伺う。

### 答弁(町長)

① 来年度予算編成に当たり、限られた財源の中、社会保障関係、雇用経済情勢の対応など多方面にわたる財源課題を積極的に取り組む。



老朽化の進んでいる「東郷学校給食センター」

町の課題として中学校、学校給食センターの統合、東郷地区保育所統合、地区公民館体制事業などがあり、第2次総合計画の整合を図る。

② 決算審査意見書で指摘のあった不納欠損処分については、常に検討を行う。文書事務の適正化を図り、総合相談事業の経費支弁について再精査を行うこととする。

③ 法施行に伴う条例規則の改正については、3月議会で上程を予定している。

## Q いじめ問題の対応は

**A** 隠ぺい体質はないと認識



浦木 靖 議員

北浜中学校には体育部

また、教育現場の隠ぺい体質が問題になっているが、そのようなことはないのか伺いたい。

子ども達のスポーツ・文化活動は、必要なことだと考えるが、学校での部活動・スポーツ少年団の活動状況はどつなのか。次に、最悪の場合、自殺につながりかねない、いじめの問題であるが、先日文部科学省が行った実態調査に、本町はどのような内容の報告を行ったのか。

13と文化部4、東郷中学校には体育部10と文化部2の部活動があり、全ての生徒がいずれかの部に所属し、いきいきと部活動に取り組んでいる。

スポーツ少年団は、羽合地域5団、泊地域4団、東郷地域4団に加え、全



全国大会に向け練習中の「東郷ミニバスケットスポーツ少年団」

町を網羅した剣道、柔道、ソフトテニスの3団が活動している。

いじめに関する実態調査について、本町においても、昨年度「懸念される事案があった」と認識している。

教育現場から速やかな報告を受け、保護者会を含め関係機関が連携して取り組んでいるので、隠ぺい体質はないものと認識している。



整備が急がれる松崎エリアの県道

## Q 県道倉吉青谷線の緊急整備を

### A 安全確保を主眼に要望



入江 誠 議員

今年10月1日、湯梨浜町旭地内において、県道を自転車をひいて横断し

ようとしていた70歳代の女性が乗用車と衝突し、死亡する事故が発生した。県道倉吉青谷線の引地工区での引き続きの歩道整備も必要だが、交通事故の発生した現状を踏まえ、松崎エリア及び東郷湖畔公園前交差点の

整備も必要である。

地元から緊急整備の要望を出す必要があると考えるがどうか伺う。

#### 答弁（町長）

10月1日に、県道倉吉青谷線、旭地内での死亡事故を含め3件の人身事故が相次いで発生した。町では急ぎよ、10月6日に「町交通安全緊急総決起集会」を開催し、町民へ事故防止の啓発を行った。

松崎エリアの県道の状況は、町も県も改良の必要な場所だと認識している。

県では、町の要望に応え、東郷池河川整備計画を策定後、速やかに事業着手できるよう平成25年度当初予算要求をしている。着手を早め、事業化を確実なものにするため、安全確保を主眼にした町単独の要望も実施したい。



遊戯室で体操する「田後保育所」

## Q 保育所施設の整備の考え方は

### A 入所者推移を見極め考えたい

今春、150人定員の「はわいこども園」の新設整備が完了。120人定員の「長瀬保育所」と同様に、旧羽合町エリアにおいては広いスペースが確保された環境の中で、子ども達がのびのびと生活しているように感じている。

その中で、「田後保育所」は、120人定員でありながら整備が不十分ではないかと感じている。園庭の拡大整備、屋根整備、トイレ整備など整備が進んだものがある一方で、遊戯室の拡大整備が必要だと思うが、考え方について伺う。

#### 答弁（町長）

合併後、町内の保育所、幼稚園の再編について検討を行った。

「田後保育所」は存続という方針で、平成21年度から園庭の拡張、屋根の大規模改修、調理室の増改築を行うなど、年次計画的に改修を行ってきた。

今後の整備については、地域の乳幼児人口や出生数の状況、入園児の見込み数などを見極め、現場の状況を把握しながら考えたい。

#### 答弁（教育長）

同保育所については、計画的に整備が図られてきたが、既にある施設・設備の活用方法を、保育過程、教育計画を検証する中で見直す必要がある。その結果、より充実が求められる施設・設備については計画的な対応が必要だと考えている。

## 男女共同参画社会の

### 進捗状況は

【A】より充実するよう取り組む

大切だと思う。



会見祐子 議員

あらゆる審議会において、女性は3割参画することになっているが、防災に関しては少ない。近隣の町では、条例を自町の政策に合わせて改正しつつ、女性割合を3割にしているという。

防災会議には女性の登用が少ないが、災害時には女性が看護、介護、避難所のリーダーなどで活躍されねばならない。わが町の今後の進捗、推進について伺う。

また、男女共同参画について子どもたちから学校教育で行い、生涯学習へつなげていくことが

【答弁（町長）】

町内の各種審議会23機関中、11機関が女性登用率30%以上で、全体の48%の機関が女性参画率3割を達成している。

しかし、防災会議については法で構成委員を規定しており、なかなか女

【答弁（教育長）】

公民館活動の中に「男女共同参画社会の推進」に向けて具体的な施策を企画立案していくことが必要である。学校教育、社会教育いずれにおいてもしっかりと取り組みたい。

性の率が上がらない。避難所生活での女性の役割、視点、リーダーは大切であり、県、社協、日赤とも連携して講習会などへの女性の参加を図る。



防災訓練で活動する日赤奉仕団

## 可燃ごみ減量の取り組みは

【A】液肥利用を広めたい



生ごみ分別収集の様子

【答弁（町長）】

平成23年度、24年度と搬入量は増加しているが、その理由は把握できていない。

この間、ごみ減量の啓発活動として、出前講座や廃食用油など廃棄物のリサイクルにも取り組んできた。今後も引き続き取り組んでいく。

生ごみを減量化するため、液肥化事業にも取り組んできた。生ごみ収集だけでなく、液肥の利用についても町民の理解を広めたい。

広域連合では、最終処分場の延命化と環境負荷の低減を図るため、平成24年度から県の補助事業を活用して、「ゼロ・エミッション計画」の取り組みを始めた。11月19日に中間取りまとめが行われ、来年1月に策定される。

町では、これを受けて、計画内容を広報し、推進していきたい。

近年減少傾向にあった

可燃ごみの中部広域連合への搬入量が、平成23年度から増加の傾向をたどっている。最終処理場における焼却灰の埋め立ては1年でも長く継続したいと考えている。

生ごみは水分を切ることで半減し、紙ごみは資

源としてミックスペー

パー収集に尽力することなど、町民課で啓発に取り組むべきである。各集落への出前講座や、各団体への周知活動が望まれる。

また、堆肥、液肥の利用開発方法も考えていくべきと思う。

**Q**就学援助国庫負担復活を  
国に要望して

**A**適切に対応していきたい



増井久美 議員

平成17年度に準要保護の国庫補助がなくなり、国からの補助金が大きく

削減された。しかし、制度そのものが廃止されたわけではなく地方交付税での財源措置もされている。町として就学援助はきちんとなされているか。現在、親の仕事が厳しくなっている中で、子ども達が安心して教育を受



クラブ活動に励む中学生

けられないということがあってはならない。国庫補助廃止は自治体間格差を生みはしないか。国に対して、国の責任を明確にするよう、国庫負担の復活を要望してほしい。

**答弁(町長)**

本町の今年度の就学援助対象者は138人で、昨年度より19人増加しているが、全員支援している。

中学3年生においては、クラブ活動など多くの分野にも支援を拡大し、年間16万円を支援しており、昨年度より1万1千円増やしている。そして、県内での他の自治体間での格差はない。国に対する国庫負担の復活の要望については、県全体で調整しながら、適切に対応していきたい。



タッチパネル式テストで認知症を早期発見

**Q**在宅介護を支える仕組みに  
取り組むべき

**A**より効果的な方法を  
探したい

探したい

在宅で過ごしたいとい

ないか。

うのが町民の願いだと思う。2025年、高齢者に団塊の世代が入り、高齢化率も高くなると予想される。入りたくても施設は足らないといった状況がやってくる。町として在宅を支える将来設計をきちんと持つべきでは

また、65歳以上の10人に1人が認知症と言われているが、早期発見で治療が可能だと言われている。琴浦町が2004年から取り組んでいるタッチパネル式物忘れチェックテストに早急に取り組むべきではないか。

**答弁(町長)**

2025年の高齢化率は、65歳以上で34%、75歳以上で19.5%を予想。2050年では、65歳以上で39.9%を予想している。

在宅介護に対しては、ニーズに応じ、フォーマルサービスを充実させ、分野を超えた取り組みを推進したい。

認知症早期発見に向け、本町では要介護者以外の方を対象として「基本チェックリスト」を採用し、回収率は96%となっている。タッチパネル式テストを含め、より効果的な方法を探したい。

※フォーマルサービスとは、公的機関や専門職による制度に基づくサービスや支援のこと。具体的には、介護保険(介護予防)サービス、地域包括支援センターや社会福祉協議会の支援などの制度に基づくサービスなど。

# 常任委員会

## 審議内容

総務産業常任委員会

11月12日ほか1回

### ◆水明荘の資金運営

Q 営業努力が足りない。宣伝する時期も遅いが、どう考えているのか。

A 申し訳ない。営業担当の職員が、事務長不在の間、その業務にあたっており、動けない状況もあった。忘・新年会、その後も企業まわりなどに取り組む。

Q 人件費割合が高い。

A もっと正職員が少なくてもよいのでは。

Q 水明荘職員は現業職で、今年度は1人異動した。一般職への異動は難しい。

Q 水明荘運営委員会が機能していないのでは。

A 慣習的に年1回程度開催している。今年から町外の方にも入っていたり、女性ならではのアイデアなどを出してもらっている。



坂道の積雪が課題の「さくら工芸品工房」進入路

Q 会議などの会場としては自慢できる施設である。利益はどうか。

A 会議室の使用料のみの売り上げで、準備などに人手はかかるが、利益は見込めない。ただ、入浴とのセットや食事のパンフレットを覚えてもらうなど、水明荘の敷居を低くする効果はある。

### ◆さくら工芸品工房のカフェ休業について

カフェ「ピットイン」

を12月から3月まで休業する。冬場は雪の影響などで客入りが少ない。オーナーは地域に根ざした形を目指しており、継続したい考え。4月から他の店長での開業を予定。

Q 店に上がる坂道の融雪、除雪の検討は。

A 昨年、除雪機を設置した。町でも除雪車を出している。消雪設備は、県道工事の際にポンプを引き上げてしまっている。除雪で対応したい。

## 教育民生常任委員会

10月4日ほか4回

### ◆児童館のあり方

Q 子ども達は学校が終わってから児童館に来る。放課後児童クラブもあるので無駄である。

A 反差別の学習の場として活用されていて、必要な施設である。土曜日や長期休暇などは活用されている。

Q 保育士の配置が必要なのか。保育所では保育士不足である。

A 児童館には遊びを指導する児童厚生員の配置が必要。児童館という名前を廃止して、利用実態に即した適正な人員配置を検討する。

### 【委員会のまとめ】

田畑・浜地区の児童館がこれまでに取り組んできた同和対策事業、同和教育の成果もあり、両地区の社会環境はかなり改善されてきた。



ネットの改良が望まれる東郷運動公園

一方、児童数の減少や放課後児童クラブの設置など、児童館を取り巻く環境も大きく変化している。この他にも子育て支援事業は拡充しており、休館中の温泉、泊児童館も含め廃止を検討されるべきだと考える。

ただし、両児童館には差別をなくすために活動してきた歴史、成果があり、今も根強く残る部落差別をなくすために施設は文化会館的な施設として残すべきだと考える。

### ◆東郷運動公園

Q 野球場のネットが非常に低く、周辺に子どもがいた場合に危険ではない。

A 現状では高校野球の受入れができない。指定管理者の「チューブ」から、具体的な高さを示されて要求も出ている。来年度予算で検討したい。

## ◆公民館体制について

昨年3月議会において、今後の地区公民館体制について、議会としての方向性を示した。

その内容は、「所有、維持管理の形態は現状維持とし、条例、運営規定を公平なものに見直す。今後は地域と協働して様々な事業に取り組み

『地区コミュニティセンター（仮称）』として、町行政全体が関わる」というものだった。

しかし、教育委員会から出された案は、「中央公民館3館を核として、各地区公民館で行われてきた事業を精査し、町職員と生涯学習推進員が協力して取り組む。加えて、集落ごとに生涯学習運営委員を置き、企画・立案に参画し、集落との連絡調整などに協力していただく。」といったもので、議会の提案が反映されたものではなかった。



中央公民館での展示の様子

**Q** なぜ議会の意見が反映されていないのか。

**A** 来年度以降、どういった機能をコミュニティセンターに持たせるのか、具体的に議論していく。今回の案では、社会教育に関わるものを抜き出して体制整備する。

**Q** 負担の不公平感が解消されていない。

**A** 利用実態に合わせた管理形態としたい。舎人羽衣会館は多目的施設として町が管理するが、料金体制について、町内他施設と整合性を図りながら、適正な利用料を検討していく。

## 意見交換会

8月に開催した「住民と議会の意見交換会」でいただいたご意見に対して、担当委員会と協議を重ね、議会としての回答を出しました。

また、行政に報告し、回答を求めたご意見についても紙面上で報告します。

### フッ化物洗口

乳幼児の虫歯予防対策で、フッ化物洗口の公費負担を復活してほしい。

治療にかける費用の幾分かを予防に回してほしい。

**Q** なぜ公費負担を取りやめたのか。

**A** 平成20年度から町内保育所等で県のモデル事業として取り組みを始め、22年度には全園（4、5歳児）で実施した。導入年度のみ県補助だったため、23年度以降は県補助がなくなった。町ではフッ化物洗口だけでなく、ブラッシングも重要視する方針をとっている。フッ化物洗口



ブラッシングに励む子どもたち

は保護者の同意に基づいて、自己負担（年額400円程度）で行っている。

**Q** フッ化物洗口の効果は確認されているか。

**A** 虫歯になった率は減少の傾向にあるが、ブ

ラッシング指導との相乗効果もある。フッ化物洗口だけの効果かどうか、判断は難しい。

### 【委員会のまとめ】

確かに虫歯予防効果は認められる。しかし、薬品の管理に手間がかかり、適正に使用しないと健康に影響を及ぼす可能性は否定できない。

専門家の間でも、有効性を主張する意見と、ブラッシングで十分という意見に分かれる。

公費負担ではなく、現行どおり家庭の責任において推進すべきと考える。なお、小中学校での取り組みについては、教育委員会を引き続き検討中である。

※「町社会福祉協議会に対する補助金」に対する意見については、引き続き教育民生常任委員会で協議・検討中。

### 町行政へ回答を求めた意見

**Q** 幼保一体化施設建設のための資金繰りは。

**A** 総工費6億9百万円余りで、財源は主に合併特例債を活用。一般財源の支出は全体の4.2%。

**Q** 区長会で、①敬老会、②避難所看板、③街路灯について要望をしたが、1年たっても回答がない。

**A** ①今後の開催方法について、対象者アンケートを実施した。来年度以降は、泊、羽合、東郷の3地域で開催する。

②現在、津波ハザードマップを作成中で、避難所一覧を掲載する予定。沿岸部では防災研修会を開催し、避難所・避難経路の確認や海拔表示看板の設置について説明した。③区で設置要望があれば、現地を確認し、設置基準と照らし合わせて総合的に判断する。交付金を活用し、区管理の防犯

# 行財政問題調査特別委員会報告（抜粋）

に専決できるよつこし、速やかな対応に努めている。



避難所を予定している「桜コミュニティ施設」

灯を設置することも検討  
いただきたい。

**Q** 桜コミュニティ施設をきちんとした防災拠点施設にしてほしい。

**A** 松崎地区の防災拠点施設には、中央公民館の活用を考えている。桜コミュニティ施設は避難所として使用する予定。

**Q** 町マイクログラスで県外に出られない。

**A** 町が行う各種行事、町民団体の行事、研修など、使用基準を定めており、県内運行が原則。県

外運行は、町長が特に必要と認めた場合のみ認めている。その場合は町職員の引率が必要。

**Q** 役場職員の対応が遅い。「すぐやる課」を作つては。

**A** 日常生活に関して緊急を要する工事や簡素な修繕は、担当課ですぐ対応している。許認可が伴う場合には、関係機関との調整などに期間が必要となる仕事も多い。

現在役場では、業務を効率的に処理するため、決裁権の一部を各所属長

**Q** 地区公民館や中学校統廃合の問題で、住民の意見を真摯に聞く場を作つて、納得のいくような進め方をしてほしい。

**A** 重要な案件については、住民との意見交換、説明会を開催する。公民館のあり方については、11月に3地区で行つた。各区から説明会の要望があれば出向く予定。

中学校統廃合については、計画が遅れており、まだ開催できていない。今後、建設場所などについて、町としての方針を定めた後、できるだけ早い時期に住民説明会を開催する予定。

**Q** 地区公民館の予算・決算・事業報告を明らかにしてほしい。

**A** 公文書の開示請求があれば、開示する。

(一) 健全財政を維持するため計画的な財政規模の縮小化を図る  
ハード事業の財政支出は、今後の財政運営に大きく関わる問題で、しっかりと財政計画が求められている。また、人件費、扶助費を中心とする義務的経費などは年々財政を圧迫している。住民負担をいかに減らすか、行政と町民が一体となって取り組まなくてはならない。



(二) 補助金などの整理統合、事業の見直しを含めた削減を図る  
①各種補助金については、従来からの経緯や現状など考慮する必要があるが、町民生活に照らして精査見直しを行う。  
②町発注の工事や業務について、行政内に権限のある独立した検査機関を設け、完成検査を行う。  
③現行の事務事業について、行政効率、住民サービス向上の状況などに留意しながら検討することが必要。第三者による「外部評価委員会」（仮称）を設置し、事業全般を対象に評価を行い、見直しを行う。

(三) 組織のスリム化を実施し、更なる定員管理の適正化を図る  
計画では、平成27年度までに職員定数を190名としている。適正定数を定めるには、町の基本理念、政策、地域的な特性、財政状況など客観的検証がなされなくてはならない。  
①課の統廃合を検討、段階的に管理職・課長補佐などの削減  
②グループ制の導入により職務の効率化を図り、人員削減を実施  
③退職勧奨制度を復活させ、計画的に削減  
以上の点につき、客観的に適正かどうか、再度職員定数を見直し、組織のスリム化及び定員管理の適正化を図りたい。

# 私たちなら、 こんな町にしたい！

## ● ほどよい緊張で熱弁●

12月27日、北溟中学校、東郷中学校の3年生17名が参加し、「湯梨浜町中学生議会」が開催されました。

5つのグループに分かれて一般質問を行い、中学生ならではの視点で、町に対する提案や要望を、町長、教育長にぶつけました。



### 湯梨浜町を一生誇りに思える町づくりについて

#### ★北溟中学校

新 剛志さん 石坂力成さん  
山崎悠生さん 涌嶋宏輔さん



### 東郷湖活性化プロジェクトについて

#### ★東郷中学校

川田耕太郎さん 吉田昌悟さん 寺地陽菜さん

Q 東郷湖の環境整備が必要。濁った水や悪臭の原因と町の対策は。

A 水質悪化の原因は、水中の酸素が足りないことだと聞いている。海水は真水よりも重いいため、底にたまり、ヘドロなどがたまりやすくなる。

一斉清掃や、アダプトプログラムで清掃したり、農家の方も減農薬に取り組んでいる。

Q 東郷湖のキャラクターならば、天女ではなくシジミや温泉をイメージするものがないのでは。

A 湯梨浜町の特徴を入れ込んだキャラクターで、天女が舞い降りるような美しいまちというイメージがわくようにした。シジミを利用したグッズなども開発されている。



Q 街並みの整備について、空き店舗や空き家を有効活用してはどうか。

A 空き店舗の活用については、新たに開業した場合、賃借料の半分（上限5万円）を1年間補助したり、3年間固定資産税相当額の交付金を交付する制度などがある。

空き家対策については、空き家バンクに登録し、広く周知している。Uターンなど移住定住促進にも力を入れている。

Q 「鳥取のハワイ」の名で全国に定着してきた。「はわい」を地名としてもっと活用できないか。

A 合併時に、古い名前にはこだわらないことを基本合意として「湯梨浜町」という町名を考えた。

3町村が一つになったのに旧羽合町地域だけ「はわい」の名をつけるのはどうかと思う。各地区の歴史・文化を尊重した上で、「ハワイ」の名をPR活動に活用していい。

Q ゆるキャラを作ってほしい。

A 天女の降る里づくりをコンセプトに、東郷湖周辺の整備に取り組んでいる。その中で、天女キャラクターを公募し、デザインは決まった。

二十世紀梨の花や髪の色、ハワイをイメージしたドレスに波の模様など、湯梨浜の特色を取り入れたキャラクターで、愛称は現在選考中。

## 湯梨浜町の安全と活性化について

★北浜中学校

津村美里さん 山田 亮さん 山本茉歩さん

Q 幼児、お年寄りの交通事故防止対策は。

A 保育所などで横断歩道の渡り方を指導したり、

保護者にチャイルドシートの利用広報をしている。

お年寄りについては、個別訪問や老人クラブで講習会を開いてもらっている。

今年発生した死亡事故はどちらも夕暮れ時だった。早めのライト点灯など、ドライバー啓発にも努めている。

Q 「ハワイ祭り」がなくなると、活気が失われつつある。なくなった理由と復活の可能性は。

A 必要性、経費などを総合的に考え、東郷湖週の祭りは水郷祭に一本化した。合併により、寄付金が減少したことも理由にあげられる。



現在羽合エリアでは、冬に温泉広場で花火を上げるイベントが開催されている。

合併以前の祭りのあり方が、泊・東郷では地域主体だったが、羽合では役場が主となり開催していた。自分たちでやろうという思いが高まれば復活もあるかもしれない。

## 学力向上と、人権意識が高まる教育環境の整備について

★北浜中学校

吉川留奈さん

櫻井綾香さん

宮脇希望さん

Q 扇風機やエアコンがないと、夏は暑くて授業に集中できない。学習環境を快適にすることで、町全体の学力向上につながるのでは。

A 来年の夏にはすべての学校に扇風機を設置したい。教室の風通しをよくすることなども考えた。中学校を統合した際には、エアコンの設置も考える。

Q 人権学習が充実しておらず、本音が言えくらし深くまで掘り下げて学習できていない。町として人権学習推進をどう考えているか。

A 近年の人権コンサートでは、住民向けとは別に、中学生向けにも開催している。ただ聞くだけ



で終わるのではなく、双方向の学習となるように、来年度以降改善していきたい。

学校での人権学習についても、本音で語れるようになるのが目標。学びの主体者として、日々の授業を改善することにも取り組んでほしい。

## 中学校の統合について

★東郷中学校

福本秀喜さん 福田万祐子さん 前田七海さん

Q 中学校統合の理由、時期、場所を知りたい。

A 理由は、少子化で学級数、教師数が減ること、教科学習や部活動に支障があることや、両校とも建設から40年以上経過し、現在の耐震基準を満たしていないことなど。平成28年度中の完成、29年度の開校を目指す。

場所は現在検討中。1月中に議会に報告、意見交換したい。

Q 現在取り組んでいる各地域の伝統芸能などについては、統合後どう取り扱われるのか。

A たとえば「浪人踊り」は、松崎地区で受け継がれていたものを、町全体の誇りとして各学校で取り組まれてきた。このような経緯を参考にし、湯梨浜町の誇れる文化とし

て今後も継承してほしい。何を、どのように継承していくのか、生徒、学校、教育委員会、住民と一緒に考えていきたい。

Q 小学校のとき統合を経験し、友だちづくりが大変だった。配慮してほしい。

A 統合前の1年間は、合同宿泊研修や部活動の合同練習などの交流を計画的に推進する。生徒会執行部が企画立案に取り組みことに期待している。



# 中学生議員のつぶやき

**質問** 議員体験をしてみた感想は？  
※紙面の都合上、一部の掲載とさせていただきます。



**涌嶋宏輔さん (北溟)**  
議場で堂々と発表することができ、とても光栄でした。議会の雰囲気、緊張感は新鮮で、話に聞いていたよりも楽しく参加することができました。

**川田耕太郎さん (東郷)**  
町議会は、町民の代表が議員になることで進んでいきます。自分たちの意思・投票によって決まってくるという意識が大切だと思いました。



**津村美里さん (北溟)**  
緊張したが、伝えたいことをすべて発言できました。議会を通して町の取り組みをたくさん知れました。議会の緊迫感も味わえました。

**寺地陽菜さん (東郷)**  
すごく緊張しましたが、中学生として気になることや不満を言えて、知りたい内容を知ることができてスッキリしました。議員の仕事を知りたいと思いました。



**櫻井綾香さん (北溟)**  
今までは湯梨浜町のことにあまり関心を持っていませんでした。中学生議会に参加して、今以上に心地よい湯梨浜町にしたいという気持ちになりました。

**加藤詩織さん (北溟)**  
「議長」という立場はなかなか体験のできない貴重な体験だったので、初めは緊張しました。予定外のこともあり、それを対処していくのはとても大変だったけど、同時にすごくやりがいを感じました。



## 議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341      メール ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

## 編集後記

穏やかな年明けでした。この広報が出るころには、春はそこまで来ているでしょう。

さて、今回は「中学生議会」の様子を掲載しています。中学生の皆さんは、緊張しながらも、しっかりと自分の意見を述べてくれました。町行政や議会に対して興味や関心を持っていただき、大変うれしく思いました。何年後、この思いを胸に議員や町長を目指してほしいと思います。私も中学生の皆さんの手本となるよう、いっそうの努力をしなければと思います。

(記 増井)

### 議会広報常任委員会

- 委員長 上野昭二
- 副委員長 増井久美
- 委員 会見祐子
- 吉村敏彦
- 河田洋一
- 浜中武仁